

理研会報

教研集会へ向けて

◇二部会

自然とのふれあいを重視し、
楽しさを感じながら理科学習は
いかであるべきか
—— 直持経験の学習への適用
と効果的実験の工夫 ——

◇研究内容

・児童・生徒の事柄・現象の導入のあり方、及び、指導計画への位置づけ。
・身近かに存在する事柄・現象の導入のあり方、及び、指導計画への位置づけ。
・直持経験のための効果的実験の導入のあり方。
・発表の概要

昨年度、児童・生徒の自然認識の実態調査、身近に存在する事柄現象のとりえ方について調査を注意強化を計るための素材の準備と教材への組み入れ方の検討を行なった。それをもとに授業実践、評価を行なった。

本年度は授業実践の検討と整理を行ない発表する。内容的には授業実践とそれに対する本年度の授業後の評価、また実態調査のまとめを発表する。

地蔵の自然の教材化 地蔵(成田層)の教材化

◇二部会

二部会では、一昨年度まで個人研究の発表の場として取って置いたものの発表(小中ともに地蔵分野)を、かつ、昨年度から共同研究を進め、成田層露頭集の作成、教材の抽出、復元を行ない授業研究を行なった。

昨年度の実践で出された問題点として
・露頭集をどう位置づけ授業で扱うか。
・その何を教えるのか
・六年、中学三年でどこまで教えるか

露頭の近い学校ではどうしたらよいか
・視覚教材の活用方法はいろいろと出された。
・研究内容
・成田層露頭集の使いやすさの方法
・露頭の教材化のための資料
・視覚教材の活用

発表の概要
・露頭集を、アンケート結果を参考として、露頭から何を観察すればよいか。この露頭では何がよく見られるか。また、どう利用しやすくなるか。また、観察条件等も考え合わせる。

・視覚教材として、小学校ではスライド、中学校ではVTRを作成し、その内容を向う。
また小学校では、子どもに対するアンケートをとり、露頭へ行く、学習した場合と、なんらかの理由により見学に行かなかった場合との違いを明らかにしていきたいと考えている。

また、授業実践の結果について報告する。

◇三部会

地蔵の自然の教材化

第二次三ヶ年計画の二年目になります。第一次三ヶ年計画と同主として地蔵分野、特に地蔵を中心とした地蔵の自然の教材化を軸としてみなしました。五十五年からは第二次三ヶ年計画ということで、生物自然の教材化を目指して研究に取りかかっています。子供達に自然に直接ふれる機会を多くし、興味に高のながら、地蔵の自然の持味を生かした学習を経験させることをねらっています。

今回は、昨年度の研究の土壌に、授業実践を行なって検討したものを発表できる見通しです。以下、発表の概要をお知らせいたします。

(小学校の部)
一、虫をかくてみよう(二年)
二、コオロギ、バッタなどを育てよう(自然に近い状態で飼育し、観察できる工夫を試みた実践)
三、「いごの育ち方」四年

探し、生育状態を調べたり、どんぶんを採取したりした実践
三、「植物のつくり」とはたらき」五年
学校のまわりには生育する植物を用いて根毛、茎、葉孔等のつくりを調べたり観察しようという試みた実践。

四、実やたねのつき方(六年)
学校の近くに生育しているオオマツヨイタスを用いて、生育の状態や花、種子のつき方を調べさせました。
・野鳥の観察 一年 他
学校や地蔵に生棲する鳥は、飛来する野鳥を、鳴き声、大きさ、形、飛行、特徴ある動作、飛来する季節等を種類を識別したり、生態をつかませたりして、野鳥に興味をいだかせ、生物を愛護する心情や態度を養おうとした実践。
二、「土壌動物」 三年
学校近くの森林の表土に生育している小動物を採取し、分類したり生態を調べるなどして、生態系のつながりを理解させようとした実践。

この他、いくつかの実践例が発表できる予定

◇四部会
興味を持って参加できる天体相違はどのようになればよいか。
天体の研究を通して、教師自身が天体に対する興味を高めること

ができれば、指導方法にも改善が期待され、子どもたちの活動も生き生きし、発見の喜びが溢れるであろうという仮説のもと研究を続けられてきた。昨年度はアンケートから天体の指導には問題がたかたかあることがわかった。そのため、いくらかでもそれらの解消に当てるよう研究をした。

発表の概要
・天体指導に関する教師側の意識
・指導内容についての考察
・学力テストの結果考察
・天体指導の系統表
・星の動きの指導計画の立案、指導資料の作成
・授業実践を行ない、これをもとにまとめる改善する。
星についての研究会

◇五部会
地蔵の実態に即した観察教材の効果的学習指導法はいかにあるべきか
・主題について
自然と親しむ豊かな直持経験をさせようと考えるとき、その方法は現場学習にまつよりない。しかし、その一つ現場学習に当たり効果的に活用されているだろうか。また、学習に適した現場そのものが身近に存在しているだろうか。

解決すべき課題は多い。
このような課題を解決するための段階的資料を提示し、二については、施設設置の見直し等を提示する予定。一、二の報告をし、年次計画初年度の提案とした。

以上が主な研究の内容であるが本年度は、一については調査、計画段階の資料を提示し、二については、施設設置の見直し等を提示する予定。一、二の報告をし、年次計画初年度の提案とした。

まだ計画段階であるが、各年度で学習される内容で、現場学習が可能なもの、不可能に近いもの、大きく二分して研究を進めていく予定である。

一、地蔵において現場での学習が可能な教材について
①各校区にみられる観察教材の存在する位置、場所の手付けと確認。
②市内全校区にみられる観察教材の存在する位置、場所の手付けと確認
③各校区における学習指導への位置づけと活用方法
二、現場学習をしようとする現場がない、不可能な学習内容について

施設づくりを計画し、完成後に効果的学習指導のあり方を追跡研究したい。
①施設モデル化、予想完成図の検討と作成
②設置方法の検討
これらの施設は二、三ヶ年計画で完成をみたい。

主な施設
・地蔵の学習に関するもの
・川の流れ、流水のはたらきに關するもの
・総合的観察池等

以上が主な研究の内容であるが本年度は、一については調査、計画段階の資料を提示し、二については、施設設置の見直し等を提示する予定。一、二の報告をし、年次計画初年度の提案とした。

以上が主な研究の内容であるが本年度は、一については調査、計画段階の資料を提示し、二については、施設設置の見直し等を提示する予定。一、二の報告をし、年次計画初年度の提案とした。

以上が主な研究の内容であるが本年度は、一については調査、計画段階の資料を提示し、二については、施設設置の見直し等を提示する予定。一、二の報告をし、年次計画初年度の提案とした。

以上が主な研究の内容であるが本年度は、一については調査、計画段階の資料を提示し、二については、施設設置の見直し等を提示する予定。一、二の報告をし、年次計画初年度の提案とした。